「medicina」 第24巻 総目次

1987年 第1号～第13号

数字は通巻頁数，（ ）は号数，10号は増刊号です．

〔今月の主題〕

糖尿病診療の現況（1）

糖尿病診療の現況 繁田 幸男 6
病型分類—WHO 1985 兼子 俊男 8
〈糖尿病の病因はどこまでわかっているか〉
Ⅰ型糖尿病 井村 裕夫 12
Ⅱ型糖尿病 河盛 隆造・他 16
〈糖尿病の診断とコントロール基準〉
診断基準とその根拠 佐々木 陽 18
コントロールの指標となる検査 坂本 信夫・他 22
ヘモグロビン A_1，A_{1c}の臨床的意義 老籾 宗忠 24
〈糖尿病の治療と患者指導〉
糖尿病治療の目標 平田 幸正 26
患者と医療スタッフとのふれあい 石垣 健一 28
食事療法の効果的な指導法 泉 寛治・他 32
運動療法の具体的な指導法 藤井 暁・他 36
経口血糖降下剤の使い方 三家登喜夫・他 38
血糖自己測定—保険適用その実際 南 信明・他 40
インスリン頻回注射法の実際 松田 文子 42
インスリン皮下持続注入療法(CSII)の適応と限界 難波 光義・他 44
糖尿病性昏睡の緊急治療 七里 元亮 46
〈合併症の治療と患者指導〉
網膜症の光凝固と硝子体手術 福田 雅俊 52
腎症患者の食事療法と指導 星 充・他 55
腎症透析患者の管理と指導 山崎 親雄・他 62
起立性低血圧と無力性膀胱の治療 姫井 孟・他 64
壊疽の病態と治療 富長 将人 66
計画妊娠と妊婦の管理 大森 安恵 68
〈トピックス〉
ヒト・インスリン製剤の長短 中川 昌一 72
インスリン・レセプター異常症と異常インスリン症 小林 正 74
IDDM（Ⅰ型）糖尿病の免疫療法 豊田 隆謙・他 78
膵移植の現況と展望 高見 実・他 82
〈座談会〉
糖尿病患者のホームケアをどう指導するか 平田 幸正・池田 義雄・池田 正毅・繁田 幸男 87
今月の主題・理解のための10題 繁田 幸男 102

炎症性腸疾患とその周辺 診断と治療（2）

序にかえて 多賀須幸男 186
〈概念・分類と問題点〉
炎症性腸疾患の概念 吉田 豊 188
潰瘍性大腸炎の診断基準と病期分類 宇都宮利善・他 192
Crohn病の診断基準と問題点 渡辺 晃 196
腸管Behçet病の診断基準と問題点 馬場 正三 200
Crohn病のacivity index（CDAI） 小林 世美 204
炎症性腸疾患と発癌 小西 文雄・他 208
炎症性腸疾患と腸管外病変 成澤林太郎・他 210
〈診 断〉
炎症性腸疾患の生検診断—役割と限界 武藤徹一郎 212
潰瘍性大腸炎の内視鏡診断—これがキーポイントだ 桜井 幸弘 216
潰瘍性大腸炎のX線診断—これがキーポイントだ 狩谷 淳・他 218
Crohn病の内視鏡診断—これがキーポイントだ 樋渡 信夫 222
Crohn病のX線診断—これがキーポイントだ 八尾 恒良 224
炎症性腸疾患と大腸結核の鑑別—これがキーポイントだ 牛尾 恭輔 228
線状潰瘍—典型的なX線像・内視鏡像 政 信太郎・他 234
Cobblestone像—典型的なX線像・内視鏡像 長廻 紘 236
Crypt abscessと炎症性ポリープの病理所見 喜納 勇 240
肉芽腫とは，乾酪化とは 渡辺 英伸 242
Simple ulcerとその鑑別診断 松川 正明・他 244
Aphthoid uclerとその鑑別診断 多田 正大 246
〈治 療〉
潰瘍性大腸炎の内科的療法 北野 厚生・他 248
重症な潰瘍性大腸炎の集中治療と動注療法 杉田 昭・他 250
Crohn病の内科的治療 西俣 嘉人・他 252
潰瘍性大腸炎・Crohn病の手術適応 石沢 隆・他 254
Behçet病の治療 朝倉 均・他 256
炎症性腸疾患のEDとIVH 渕上 忠彦 258
炎症性腸疾患のhome hyperalimentation 正田 良介・他 260
炎症性腸疾患患者の食餌指導・生活指導・妊娠 福田 能啓・他 264
Crohn病，腸結核疑診例の治療による鑑別 望月 福治・他 268
〈座談会〉
炎症性腸疾患—診断と治療のポイント 北野 厚生・狩谷 淳・馬場 正三・多賀須幸男 270
今月の主題・理解のための10題 多賀須幸男 284

甲状腺疾患 up-to-date（3）

甲状腺，この蠱惑的な不思議な臓器 尾形 悦郎 366
〈甲状腺疾患へのアプローチ〉
甲状腺機能異常を疑うヒント 山田 隆司 368
甲状腺に腫瘤が触れるとき 藤本 吉秀 372
〈甲状腺機能検査〉
検査のすすめ方 女屋 敏正 376
甲状腺機能異常診断のための負荷試験 小林 功 380
新しい甲状腺機能検査：高感度TSH assayと遊離型甲状腺ホルモン 満間 照典 386
甲状腺ホルモン・データの読み方とその落とし穴 森 徹 390
〈甲状腺疾患の画像診断〉
画像診断のすすめ方 小西 淳二 394
甲状腺の超音波断層診断 貴田岡正史 398
甲状腺X線検査 小原 孝男 404
radionuclide検査 笠木 寛治・他 410
biopsy 宮内 昭 416
〈甲状腺炎〉
急性化膿性甲状腺炎 小原 孝男・他 420
亜急性甲状腺炎 山本 邦宏 424
無痛性甲状腺炎 浜田 昇 426
慢性甲状腺炎 阿部 好文・他 428
〈甲状腺機能低下症〉
診断から治療への実際 石井 淳・他 432

© IGAKU-SHOIN Ltd, 2013

2026/09/17 09:39:27

〈甲状腺中毒症〉
甲状腺クリーゼ　小出　義信　436
対症療法　内村　英正・他　438
バセドウ病の治療指針　玉井　一　440
バセドウ病の治療指針　伊藤　國彦　442
バセドウ病の随伴症状　高松　順太　444
〈甲状腺疾患と免疫〉
甲状腺疾患と免疫—Overview
永山　雄二・他　446
TSH 受容体と臨床　市川　陽一　452
〈トピックス〉
euthyroid sick syndrome
葛谷　信明　456
妊娠と甲状腺疾患　百溪　尚子　458
新生児の甲状腺疾患　中島　博徳　460
視床下部・下垂体疾患による甲状腺機能異常　斎藤　史郎　464
甲状腺ホルモン不応症　中村　浩淑　466
〈鼎　談〉
甲状腺疾患の臨床　網野　信行
伊藤　國彦・尾形　悦郎　470
今月の主題・理解のための 10 題
尾形　悦郎　482

呼吸不全とその管理（4）
呼吸不全—その新しい臨床的アプローチ（editorial）　宮城征四郎　566
〈呼吸不全の病態生理〉
急性呼吸不全　窪田　達也　570
慢性呼吸不全　谷本　普一　574
呼吸筋不全　金野　公郎・他　576
〈呼吸不全の臨床診断〉
診断のためのプロトコール
檀原　高・他　580
臨床症状と理学所見　宮城征四郎　584
動脈血ガス分析の臨床的解釈
桜井　滋・他　586
肺機能検査—実施上の工夫と解釈
佐々木孝夫　590
呼吸不全の基礎疾患
陳　和夫・他　594
〈呼吸不全の治療〉
呼吸不全治療のプロトコール
諏訪　邦夫　599
酸素療法のステップと選択
浅井　貞宏　604
吸入療法の適応と実際
中島　明雄・他　606
理学療法の適応と実際　蝶名林直彦　609
薬物療法の選択と意義
大西　明弘・他　612
〈人工的呼吸管理〉
人工呼吸—その適応と換気モードの選択およびウィーニング　沼田　克雄　620
気道確保—その適応と方法
松村　理司　624
人工呼吸中の全身管理—そのモニタリングとフローシートの作り方
藤原　恒夫　627
人工呼吸中の合併症とその対策
鶴谷　秀人　630
人工呼吸中の栄養管理
金野　公郎・他　634
HFV—その原理と臨床経験
福地義之助　638
ECLA，ECMO—その現状と臨床経験
寺崎　秀則　640
〈特殊な病態下の呼吸管理の実際〉
気管支喘息発作重積状態
江頭　洋祐・他　642
成人呼吸促迫症候群（ARDS）
加藤　幹夫　644
慢性閉塞性肺疾患（COPD）急性増悪
水越　和夫・他　646
溺　水　当銘　正彦　648
胸部外傷　平安山英盛・他　650
〈呼吸不全のリハビリテーション〉
リハビリテーション・プログラム
梅田　博道　654
運動療法　長坂　行雄　656
呼吸筋強化療法　町田　和子・他　658
在宅人工呼吸器療法の経験
岸　不盡彌　660
在宅酸素療法　石原　照夫・他　662
呼吸不全急性増悪の予防と対策
稲富　恵子　664
〈鼎　談〉
呼吸不全へのアプローチ
諏訪　邦夫
芳賀　敏彦・宮城征四郎　668
今月の主題・理解のための 10 題
宮城征四郎　682

内科医に必要な救急治療（5）
救急診療の基本　小濱　啓次　760
〈救急治療に必要な基本手技〉
バイタルサインの見方　藤井　千穂　762
気道確保　小濱　啓次　766
人工呼吸　鈴木幸一郎　768
静脈路確保　田中　茂　772
〈症状を中心とした救急治療〉
ショック状態　平澤　博之　774
意識障害　西出　和幸　776
頭　痛　篠原　幸人　778
痙　攣　三井　香児　782
失　神　上山　昌史・他　786
めまい　吉本　裕　790
精神症状　黒澤　尚　794
胸　痛　東海林哲郎・他　798
不整脈　山本　豊　800
呼吸困難　滝口　雅博　802
腹　痛　佐々木仁也　806
悪心・嘔吐　前川　和彦　808
吐血・下血　若林　剛・他　812
下　痢　谷村　伸一　814
腰　痛　星　秀逸　818
四肢運動障害　堤　晴彦　820
発　熱　藤井　千穂　822
発　疹　西岡　清　826
〈おもな救急疾患とその治療〉
脳梗塞　佐藤　雅春　828
脳出血　金谷　春之　832
くも膜下出血　大和田　隆・他　836
脳脊髄膜炎　小栗　顕二　838
心筋梗塞　上嶋権兵衛　842
狭心症　大江　透　846
喘　息　山内　教宏　848
CO_2ナスコーシス　青野　允　850
食道静脈瘤破裂　吉井　宏・他　854
胃・十二指腸潰瘍穿孔
寺田　浩明・他　856
イレウス　横尾　直樹・他　858
肝性昏睡　神納光一郎　860
糖尿病性昏睡　田口　治義・他　862
家庭用品による中毒　鵜飼　卓　864
食中毒　山本　保博　866
溺　水　岩月　尚文　868
異物誤飲　久保山一敏・他　872
熱射病　八幡　孝平・他　876
外傷患者の治療　加来　信雄　878
〈座談会〉
救急医療あれこれ—注意すべきこと，困ったこと木村　政良・三井　香児
上嶋権兵衛・小濱　啓次　882
今月の主題・理解のための 10 題
小濱　啓次　892

循環器疾患の画像診断（6）
超音波検査法および心血管造影法の適応と限界　吉川　純一　956
〈方　法〉
循環器疾患における胸部 X 線の適応と限界　松山　正也　960
断層心エコー図の適応と限界
別府慎太郎　968
M モード心エコー図—現状での位置づけ　大木　崇・他　974
ドプラ法の臨床応用　吉川　純一　980
ドプラ法による心機能の評価
北畠　顕・他　990
冠動脈造影法　土師　一夫　998
大血管造影法　門間　和夫　1006
X 線 CT と Digital Subtraction Angiography　高宮　誠　1010
RI 法の実際的な用い方
加藤　洋・他　1018
MRI 法の現況　増田　善昭　1024
〈各　論〉
弁膜疾患（僧帽弁逸脱を除く）
羽田　勝征・他　1029
僧帽弁逸脱　吉田　清　1038
特発性心筋症　古賀　義則・他　1046
虚血性心臓病　原　和弘・他　1054
心膜疾患・心筋炎　永田　正毅・他　1064
腫瘍と血栓　中村　憲司・他　1070
人工弁　木佐貫　彰・他　1080
大動脈疾患　中島　伸之　1088
肺血管疾患　横地　一興・他　1098
日常的にみられる先天性心疾患

2026/09/17 09:39:27

深谷　隆 1103
複合心奇形　里見　元義・他 1112
〈座談会〉
超音波診断の現況と将来
別府慎太郎・鄭　忠和
吉田　清・吉川・純一 1117
今月の主題・理解のための10題
吉川　純一 1130

肝・胆・膵疾患の画像診断(7)
肝・胆・膵疾患における画像診断の発展
平松　京一 1142
〈各検査法の進歩と限界〉
肝画像診断のすべて
単純X線写真に含まれる情報
岩田　美郎・他 1144
超音波検査　佐藤　通洋 1150
CTスキャン　森山　紀之 1157
RI検査　内山　暁・他 1164
血管造影検査　中塚　春樹・他 1170
胆・膵画像診断のすべて
単純X線写真におけるレントゲンサイン　今西　好正・他 1176
超音波検査　東　義孝 1184
CTスキャン　小久保　宇・他 1188
RI検査—胆道系　牧　正子・他 1194
RI検査—膵　山崎統四郎 1198
PTCとERCP　有山　襄・他 1202
血管造影検査　井筒　睦 1208
〈疾患別による画像診断アプローチ〉
肝癌の早期診断　打田日出夫・他 1214
肝癌の術前における画像診断
岡本　英三・他 1223
肝癌の画像診断とInterventional Radiology　塩山　靖和・他 1228
転移性肝障害の検出
亀山　富明・他 1234
肝の良性腫瘍とその鑑別
森田　穣・他 1240
門脈圧亢進症の診断
中村　仁信・他 1250
その他のびまん性肝疾患—肝炎，脂肪肝，ヘモクロマトーシス　久　直史 1258
胆道腫瘍とその鑑別診断
荒井　保明・他 1264
胆道胆石の画像診断
土屋　幸浩・他 1272
膵癌早期診断へのチャレンジ
井戸　邦雄・他 1278
膵癌の術前における画像診断
矢野　真・他 1284
急性膵炎と慢性膵炎
黒田　知純・他 1292
〈鼎　談〉
肝・胆・膵画像診断の進歩
大藤　正雄
打田日出夫・平松　京一 1298

膠原病診療の実際(8)
Editorial／膠原病—現状と問題点
柏崎　禎夫 1336
〈膠原病理解のための臨床免疫学〉
免疫担当細胞　狩野　庄吾 1338
サイトカイン　戸村好太郎・他 1340
補　体　稲田　進一 1342
自己抗体—抗核抗体を中心に
秋月　正史・他 1345
免疫複合体(Immune Complex)
吉田　浩 1352
〈診断基準の必要性とその生かし方〉
横張　龍一 1355
〈診断へのアプローチ〉
膠原病のrule in, rule outと病歴聴取のコツ　柏崎　禎夫・他 1360
慢性関節リウマチ　吉沢　久嘉 1366
全身性エリテマトーデス
東條　毅 1368
強皮症　近藤　啓文 1370
多発性筋炎と皮膚筋炎
大島　久二・他 1372
結節性多発性動脈周囲炎
安倍　達 1376
Sjögren症候群　美田　誠二・他 1378
Overlap症候群とMCTD
西間木友衛・他 1382
〈治療方針のたて方とすすめ方〉
慢性関節リウマチ　東　威 1384
全身性エリテマトーデス
市川　陽一 1386
強皮症　諸井　泰興 1388
多発性筋炎と皮膚筋炎
斉藤　栄造・他 1390
結節性多発性動脈炎　橋本　博史 1394
Sjögren症候群　富井　正邦 1396
Overlap症候群とMCTD
宮脇　昌二 1398
〈話題の膠原病関連疾患〉
薬剤誘発ループス　岡田　純 1400
成人発症スチル病　松村　高幸・他 1402
Shulman症候群　斎藤　輝信 1404
リウマチ性多発筋痛症(PMR)
星　智 1406
〈免疫療法の現状と展望〉
免疫抑制療法　熊谷　俊一 1408
抗リウマチ薬　水島　裕 1410
Apheresis, 全身リンパ節X線照射
小川　博遊・他 1414
〈鼎　談〉
血管炎症候群—考え方，とらえ方—
長澤　俊彦
細田　泰弘・柏崎　禎夫 1420
今月の主題・理解のための10題
柏崎　禎夫 1432

肝硬変と肝癌(9)
診断と治療の未来への展望
市田　文弘 1532
〈肝硬変の病態と対策〉
診断のすすめ方　井上　恭一 1534
腹水・浮腫　川崎　寛中 1538
黄　疸　足立　幸彦・他 1540
出血傾向　岡部　和彦・他 1544
肝腎症候群　奥野　忠雄 1548
上部消化管出血　高瀬　靖広・他 1550
肝性昏睡　渡辺　明治 1554
肝硬変患者の管理　安部　弘彦 1558
〈肝硬変から肝癌へ〉
肝癌発生のRisk factor
小林　健一・他 1560
HBV感染と肝癌の発生
三田村圭二 1564
非A非B型肝炎と肝癌
清沢　研道・他 1568
アルコール性肝硬変と肝癌
松田　芳郎 1570
実験肝癌のヒト臨床への応用
沖田　極・他 1574
〈肝癌の診断〉
診断のすすめ方　中島　猛行・他 1578
細小肝癌の病理　内田　俊和・他 1582
腫瘍マーカー：アルファフェトプロテイン　青柳　豊・他 1584
異常プロトロンビン　藤山　重俊 1588
画像診断　坂口　正剛 1592
肝細胞癌の血管造影診断
有山　襄・他 1598
腹腔鏡・肝生検　針原　重義・他 1602
〈肝癌の治療〉
肝細胞癌に対する治療法の選択
岡崎　伸生・他 1606
肝癌に対する油性制癌剤動注療法
今野　俊光・他 1608
免疫療法　樋口　清博・他 1612
エタノール局注療法
真島　康雄・他 1616
温熱療法　福田　善弘・他 1620
放射線療法　吉川　正治・他 1624
手術療法　角田　司・他 1628
肝移植　野口　孝・他 1632
〈座談会〉
肝硬変と肝癌
小林　健一・渡辺　明治
奥野　忠雄・井上　恭一 1635
今月の主題・理解のための10題
井上　恭一 1650

虚血性心疾患の最前線(11)
interventional treatmentの現況と問題点　山口　徹 2294
虚血性心疾患を見逃さないために
水野　杏一・他 2298
虚血性心疾患治療のプロトコール
原　和弘・他 2304
〈発生機序はどこまでわかっているか〉
狭心症の発生機序　三嶋　正芳・他 2308
心筋梗塞の発生機序　友田　春夫 2311
〈心筋虚血の診断はどこまで可能か〉
心電図法　川久保　清 2314
RI法　西村　恒彦 2319
造影法　佐久間　徹・他 2324

2026/09/17 09:39:27

〈心筋壊死の診断はどこまで可能か〉
心電図法　松下　哲 2330
超音波法　赤土　正洋・他 2332
RI 法　小西　得司 2336
造影法　佐藤　光・他 2339
〈狭心症の conventional treatment〉
抗狭心症薬の使い方
泰江　弘文・他 2342
抗血小板薬の使い方
吉田　章・他 2347
高脂血症の治療法　加藤　泰一 2350
重症狭心症の CCU 治療
本田　喬・他 2352
薬物治療の end point
大村　延博・他 2358
運動療法　小川　剛・他 2362
〈心筋梗塞の conventional treatment〉
薬物療法　南野　隆三・他 2366
血行動態モニタリングをどう活用するか　高野　照夫・他 2369
高齢者治療の問題点と対策
樫田　光夫・他 2372
リハビリテーションはどう変わったか　斎藤　宗靖 2374
社会復帰と生活指導
新田　政男・他 2376
〈interventional treatment〉
狭心症に対する PTCA
延吉　正清・他 2379
狭心症に対する CABG
布施　勝生 2384
心筋梗塞に対する血栓溶解療法
上松瀬勝男・他 2388
心筋梗塞に対する PTCA
光藤　和明 2394
〈トピックス〉
心筋虚血とプロスタノイド
本宮　武司 2400
reperfusion injury
片桐　敬・他 2402
t-PA，Pro-UK　岡田　清孝・他 2404
PTCA 後の病理組織像
森本紳一郎・他 2407
〈座談会〉
心筋梗塞の治療をめぐって
上松瀬勝男・光藤　和明
本宮　武司・山口　徹 2411
今月の主題・理解のための 10 題
山口　徹 2426

脳卒中 up-to-date(12)
Editorial／脳卒中診療上の諸問題
山口　武典 2486
〈疫学的問題〉
わが国における脳卒中の頻度と病型の推移　田中　平三 2488
病型別危険因子　上田　一雄 2492
〈脳卒中の発生病理〉
脳出血・脳塞栓の血管病理
厚東　篤生 2494
脳血栓の成り立ち 緒方　絢・他 2498
〈脳卒中の病態生理〉
脳梗塞と凝固・線溶系の新しい知見
丸山　征郎 2500
脳循環と脳代謝に関するトピックス
田中　淳二・他 2504
心・大血管病変と脳卒中
灰田　宗孝・他 2508
〈ベッドサイド診断の問題点〉
脳卒中でみられる意識障害
加茂　久樹・他 2512
脳卒中と間違われ易い病態
田代　邦雄・他 2514
ベッドサイドでの病型診断の的中率と注意点　神田　直 2516
脳卒中部位診断のために知っておきたい症状―テント上病変
田川　皓一 2518
脳卒中部位診断のために知っておきたい症状―テント下病変
澤田　徹 2524
〈補助診断法〉
DSA の利点・欠点
福住　明夫・他 2530
頸動脈超音波断層法(2-dimensional echo 法)と血管造影法との比較
半田　伸夫・他 2534
CT の限界―MRI は CT に勝るか
西村　一雅・他 2538
〈治療〉
脳卒中急性期治療の基本
福内　靖男 2542
脳虚血急性期における Ca 拮抗薬の可否　藤島　正敏 2547
脳血管性痴呆の診断と治療
小林　祥泰 2550
脳梗塞の再発予防　山之内　博 2556
〈脳卒中における controversy〉
脳出血急性期の高血圧をどうするか
―積極的降圧の立場から
児玉南海雄・他 2560
―降圧に消極的な立場から
東儀　英夫 2561
―コメント　後藤　文男 2561
脳出血の外科的適応―特に被殻出血，皮質下出血
―積極的な立場から　新義　博 2562
―消極的な立場から　坂井　文彦 2562
―コメント　喜多村孝一 2563
くも膜下出血後の脳動脈瘤手術時期
―超早期手術の立場から
菊地　晴彦・他 2564
―待期手術の立場から
米倉　正大・他 2565
―コメント　北村　勝俊 2566
未破裂脳動脈瘤は手術すべきか
―手術に積極的な立場から
米川　泰弘・他 2568
―手術に消極的な立場から
藤田　勝三・他 2569
―コメント　半田　肇 2571
無症候性頸動脈病変をどうするか
―血行再建肯定の立場から
福島　孝徳 2572
―否定的(姑息的)な立場から
西丸　雄也 2573
―コメント　田﨑　義昭 2574
リハビリテーションの開始時期
―早期離床は是か非か
―積極的早期離床の立場から
三好　正堂 2576
―否定的な立場から　栗山　良紘 2577
―コメント　上田　敏 2578
〈座談会〉
脳卒中急性期治療の実際
飯野　耕三・赫　彰郎
端　和夫・山口　武典 2580
今月の主題・理解のための 10 題
山口　武典 2592

免疫不全と AIDS(13)
免疫不全発症のメカニズム
矢田　純一 2666
免疫不全症の診断 向田　直史・他 2672
免疫不全症の治療　舟田　久 2676
〈先天的免疫不全症〉
T-cell 機能不全症 西谷　皓次・他 2682
B cell 機能不全症　早川　浩 2685
慢性肉芽腫症　小林　正夫 2688
周期性好中球減少症　溝口　秀昭 2692
補体欠乏症　近藤　元治 2696
アデノシン・脱アミノ酵素欠損症
倉辻　忠俊 2699
先天的免疫不全症と悪性腫瘍
崎山　幸雄 2702
〈後天的免疫不全症〉
白血病における顆粒球減少
柴田　弘俊 2706
多発性骨髄腫(B-cell 不全の例)
山崎　竜弥・他 2711
T 細胞機能不全症をきたす疾患
四宮　範明 2714
医原性免疫不全症に伴う感染症の治療　渡辺　一功 2717
〈AIDS〉
HIV 感染と AIDS 発症の疫学
北村　敬 2720
Human immunodificiency virus (HIV)のウイルス学 原田　信志 2724
AIDS の免疫不全の起こり方
中村　玲子 2728
HIV の感染経路　相澤　好治・他 2730
AIDS の病期分類　南谷　幹夫 2732
AIDS の診断方法　行山　康 2735
AIDS の自然経過　根岸　昌功 2738
AIDS にみられる日和見感染症
北原　光夫 2740
AIDS にみられる悪性腫瘍
今井　浩三 2742

2026/09/17 09:39:27

AIDS の神経症状　濱田　潤一・他 2744
AIDS の治療　中村　健 2748
AIDS と血友病　山田　兼雄 2752
AIDS と医療従事者　牛島　廣治 2756
AIDS と予防対策　川名　林治 2760
日本と AIDS の現況と対策
塩川　優一 2764
AIDS の症例　根岸　昌功 2678
今日の主題・理解のための 10 題
北原　光夫 2744

〔Current topics〕
電子内視鏡の現況
市岡　四象・他（1） 137
プロスタノイド―研究と臨床の現況
平田　文雄（3） 510
呼吸筋不全　金野　公郎・他（8） 1496
癌温熱療法　松田　忠義（9） 1678
間質性肺疾患―とくに Idiopathic Pulmonary Fibrosis(IPF)をめぐって
泉　孝英・他（9） 1688

〔Discussion／Controversial Area〕
心筋梗塞の治療をどうするか
五十嵐正男・他（2） 330

〔対　談〕
医療認知心理学 Medical cognitive psychology
Elstein AS・福井　次矢（5） 938

〔カラーグラフ〕
皮膚病変のみたかとらえ方
／石川　英一・他
皮膚に原発する癌の臨床像（1） 106
蕁麻疹，紅斑のみかた（2） 290
全身性強皮症重症型にみられる皮膚変化（3） 486
皮膚に発生する組織球系腫瘍病変（4） 686
全身性エリテマトーデスにみられる皮膚血管病変（5） 896
無菌性膿疱を認める皮膚疾患の診断（8） 1436
結合組織病皮膚病変のみかた（その1）（9） 1656
結合組織病皮膚病変のみかた（その2）（11） 2430
全身性血管炎(壊死性血管炎)の皮膚病変（12） 2598
免疫不全症候群にみられる皮膚変化（13） 2778

リンパ節疾患の臨床病理
ホジキン病　茅野　秀一・他（1） 117
皮膚病性リンパ節炎
新井　栄一・他（2） 293
壊死性リンパ節炎
茅野　秀一・他（3） 496
Castleman 病　片山　勲（4） 696

［グラフ］
消化管造影　基本テクニックと Pitfall
／西俣　寿人・西澤　護
胃（6）―隆起性病変；境界額域病変（1） 122
胃（7）―ニッシェの鑑別診断（2） 298
胃（8）―潰瘍の良性サイクル，悪性サイクル（3） 498
胃（9）―IIc 型早期癌（4） 700
胃(10)―IIc 類似進行癌（5） 900
胃(11)―微小病変，IIb 病変（7） 1320
胃(12)―スキルス胃癌（8） 1462
胃(13)―接吻潰瘍，線状潰瘍，穿通性潰瘍（9） 1670
胃(14)―薬剤性潰瘍，Mallory-Weiss 症候群，Zollinger-Ellison 症候群（11） 2440
十二指腸潰瘍（1）―接吻潰瘍，線状潰瘍など（12） 2624
十二指腸潰瘍（2）―出血性潰瘍，薬剤性潰瘍，吻合部潰瘍など（13） 2768

MRI の臨床
MR 診断に関する基本的事項
鳥塚　莞爾（2） 350
頭部（1）　藤澤　一朗（4） 708
頭部（2）―顔面の MR
中野　善久（5） 906
肝疾患における超電導 MRI
伊藤　亨（7） 1314
甲状腺　野間　恵之（8） 1470
胆嚢，膵，腎　西村　一雅（9） 1666

非観血的検査法による循環器疾患の総合診断
興味ある経過を示した心アミロイドーシスの1例
大木　崇・他（12） 2610

［演　習］
目でみるトレーニング
原田　頼続・他（1） 109
酒井　正雄・他（3） 489
石川　勲・他（4） 689
丹下　剛・他（8） 1455
相澤　忠範・他（9） 1659
平賀　洋明・他（11） 2433
若狭　勝秀・他（12） 2601
伊藤　浩・他（13） 2781

心電図演習
石村　孝夫（1） 131
石村　孝夫（2） 307
白鳥　健一（4） 713
石村　孝夫（5） 911
白鳥　健一（8） 1479
上原　哲史（9） 1705
梅澤　剛・他（11） 2447
白鳥　健一（12） 2641

実践診療 EXERCISE
関節痛，息切れ　高林克日己（1） 147
労作時息切れ土居　義典・他（1） 149
歩行困難，体の硬直
山崎　正博（1） 151
胸部圧迫感　後藤　葉一（3） 525
労作時の呼吸困難塚本　玲三（8） 1475
食事毎に繰り返す喘息発作
前田　裕二（8） 1477
高血糖，無月経　野崎　道郎（9） 1701
胸痛，腰痛　長谷川節雄（9） 1703
全身倦怠感，黄疸池田　健次（11） 2471
頭痛，動悸，立ちくらみ
友利　直樹（11） 2473
蛋白尿，高血圧　安田　元（12） 2633
息切れ，胸痛　蝶名林直彦（12） 2635
四肢の脱力　小島　進（12） 2637
痙攣，発熱，意識障害
亀井　徹正（12） 2639
多発関節痛，脱力感
美田　誠二（13） 2795
悪心，高血圧　野崎　道郎（13） 2797

［講　座］
図解病態のしくみ　内分泌代謝疾患
13．糖尿病の慢性合併症
岩本　安彦・他（2） 314
14．高脂血症松田　文子・他（4） 718
15．低血糖症　坂本　美一（5） 916
16．痛風　西岡久寿樹（8） 1486
17．Addison 病・先天性副腎過形成
金子　健蔵・他（9） 1711
18．アルドステロン症と褐色細胞腫
岡田　耕治・他（11） 2454

内科診療における心身医学的アプローチ
循環器疾患（1）―本態性高血圧，本態性低血圧，起立性低血圧
菊地　長徳（1） 158
循環器疾患（2）不整脈，虚血性心疾患
前田　聰・他（2） 324
神経・筋疾患　渡辺　克己（3） 528
呼吸器疾患　永田　頌史・入（4） 728
消化器疾患（1）―胃・十二指腸潰瘍，ダンピング症候群
川上　澄（5） 924
消化器疾患（2）―慢性胃炎，慢性肝炎
関谷　千尋（8） 1492
消化器疾患（3）―過敏性腸症候群，潰瘍性大腸炎　河野　友信（9） 1722
消化器疾患（4）―食道アカラジア，胆道ジスキネジー，慢性膵炎
中井　吉英（11） 2462
代謝・栄養障害をもつ患者（1）
―摂食障害　青木　宏之（12） 2648

2026/09/17 09:39:27

代謝・栄養障害をもつ患者(2)
—糖尿病，肥満
山内　祐一（13）2802

図解・救命救急治療
心肺蘇生の新しい概念とその限界
山本　保博（1）164
救急薬剤の使用法とセットアップ
黒川　顕（2）346
重症患者の集中治療におけるモニタリング　西山　博明・他（3）532
止血と出血性ショック
渡辺　千冬・他（4）738
急性心筋梗塞の初期治療
田中　啓治（8）1504

検査データをどう読むか
竹中　道子（4）744
竹中　道子（8）1510
中井　利昭（9）1726
櫻林郁之介（11）2466
中井　利昭（12）2654
猪狩　淳（13）2810

症例から学ぶ抗生物質の使い方
糖尿病に伴う尿路感染症
北原　光夫（1）170
感染性下痢のマネージメント
北原　光夫（2）344
感染性心内膜炎　北原　光夫（3）536
嫌気性菌による呼吸器感染症
高橋　幸則・他（4）742
院内感染の肺炎の診断
北原　光夫（5）932
レンサ球菌感染症北原　光夫（8）1516

循環器疾患診療メモ
右室梗塞　山科　章・他（1）174
心機能の評価法
高尾　信廣・他（2）354
Torsades de pointes
山科　章・他（3）540
胸部X線による肺血流の読み方
高尾　信廣・他（4）750
不整脈原性右室異形成 arrythmogenic right ventricular dysplasia(ARVD)
山科　章・他（5）934
肺うっ血のX線所見
高尾　信廣・他（8）1518
急性心膜炎の心電図所見
山科　章・他（9）1708
褐色細胞腫の crisis 時の心電図と心エコー高尾　信廣・他（11）2476
感染性心内膜炎(infective endocarditis)の予防
山科　章・他（12）2656

新薬情報／清川　重人・他
アゼプチン（1）154
カルフェニール（2）340
リドーラ錠（4）748
新ピリドンカルボン酸系抗菌剤（8）1520
アバン（9）1730

一冊の本
「遠き落日」　相澤　豊三（1）173
「フォークナー短編集」
長井　苑子（2）353
「ヨブ記」　吉倉　広（3）539
「リウマチ入門」佐々木智也（4）727
「ノーベル賞の光と陰」
水島　裕（5）931
「21世紀・健康への展望—医療・健康づくり・プライマリヘルスケアを考える—」
若月　俊一（8）1515
「Biochemistry of Disease」
柴田　進（9）1729

CPC／旭中央病院
後腹膜腫瘍の術後2年より，腹痛，血圧の著明な変動が出現し，腹部膨隆と acidosis を来して死亡した66歳，女性（3）544
発熱を主訴として入院．抗生剤に反応せず，副腎皮質ステロイドホルモンが著効を奏したが，腰痛，腹痛，意識障害などを来して死亡された69歳女性（8）1440
心房中隔欠損症手術(6歳)後，普通生活をしていたが妊娠出産後労作時息切れ，浮腫が増強し，少量の喀血を繰り返して死亡された20歳女性（13）2814

2026/09/17 09:39:27